



『元禄絵図』にみる長崎街道と木山口町

『田代領図』長崎県対馬歴史研究センター所蔵資料

木山口町歴史まちづくり構想

令和5年3月

木山口町まちづくり協議会

1. 木山口町まちづくり協議会

木山口町は、長崎街道沿いの町場として、江戸時代以来長く多くの人々が集まり、にぎわいを見せたところです。昭和期からは毎年12月に「きやまの市」が開催され、子どもたちの楽しい娯楽の場にもなってきました。

現在、街道沿いには、造り酒屋や製薬会社などの歴史的建造物が点在します。また、酒造りや製薬といった伝統的な産業も受け継がれています。これらが一体となって歴史的風致が形成されています。

私たちは、長崎街道を地域の財産として共有し、木山口町の歴史的風致に誇りをもち、未永く住みよく、憩えるまちとする各種事業（以下①～⑥参照）を協議・検討するため、「木山口まちづくり協議会（以下、協議会）」を設立しました。



資料 にぎわう木山口町の様子 昭和25年(1950)

(1) 協議会の概要

協議会の概要をご紹介します。（※『木山口町まちづくり協議会規約（以下、規約）』より）

1) 会員（規約第3条関係）

協議会は、木山口町に関係する者を会員とする。その他は申し出に対して、協議会での決定をもって会員とする。

2) 事業（規約第5条関係）

協議会は、次の事業を行う。

- ①木山口町の魅力を創出し、まちづくりを行う上で必要となる諸事案の検討
- ②歴史まちづくりに関する勉強会
- ③まちづくりニュースの作成など活動内容の広報
- ④歴史的まちなみを維持形成するための地区ルールの検討
- ⑤住宅等の修理・修景基準の検討
- ⑥その他、歴史的風致の維持向上に関する事業

3) 役員の任期（規約第6条関係）

役員の任期は、2年とする。ただし補欠として選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2. 長崎街道と木山口町の概要

木山口町は、長崎街道沿いに成立した歴史あるまちです。その成り立ちをご紹介します。

(1) 長崎街道

長崎街道は、江戸時代の主要道路です。町を南北に縦断しています。明治20年(1887)～明治22年(1889)に開削された旧国道4号(現国道3号)、旧九州鉄道(現JR鹿児島本線)によって失われた箇所もありますが、今も多くを歩くことができます。

(2) 木山口町

木山口町は、筑前原田宿(現福岡県筑紫野市原田)と対馬田代宿(現佐賀県鳥栖市田代)の間に位置し、正保2年(1645)に成立した間宿です。

木山口町は、降雨時の増水の際に投宿する者たちのための間宿として栄えました。

(3) 若宮八幡神社の創建

承応3年(1654)には、若宮八幡神社がこの町の鎮守として創建されています。

(4) 町場の発展

間宿としても栄えていく中で、飲食も必需品化し、江戸時代には1軒の酒造場が操業を始めています。その後大正年間に創業した酒造場が現在も操業を続けています。

18世紀中頃には製薬・売薬業の田代売薬がはじまります。また、物流のための卸問屋業も盛んになりました。

(5) 歴史的建造物

長崎街道沿いに残された歴史的建造物は往時の賑わいを今に伝える基山町におけるまちづくりの財産です。



図 木山口町に関わる文化遺産

3. 木山口町に所在する築50年以上の主な建造物

木山口町のかげがえのない歴史的建造物として、若宮八幡神社、松隈酒造場、基山商店、中村家住宅、西海製薬社屋をご紹介します。

(1) 若宮八幡神社

若宮八幡神社は、承応3年(1654)に創建されたものです。御祭神は^{おほ}大^{さざきのみこと}鷦鷯尊(仁徳天皇)で、^{あまてらすおみかみ}天照大神と^{すさのおのみこと}素戔嗚尊が合祀されています。

神社は千塔山丘陵東部にあり、この丘陵と、丘陵に接続する特別史跡基肄城跡と関連する関屋土塁基部の両方の上に位置しています。

境内には、社殿のほか、西側に観音堂、文化14年(1817)造の石製神殿の恵比須神社が祀られ、南西側には木山口町の商業発展に尽力した松隈来造氏の顕彰碑(昭和37年(1962)建造)が建立されています。

毎月、氏子の町民によって当番制で清掃が行われ、清浄さが保たれています。



若宮八幡神社



松隈酒造場

(2) 松隈酒造場

松隈酒造場は、その主屋が明治中期のものです。

主屋は入母屋造りの建物で、その妻側が長崎街道に面しています。

かつて、主屋の背後に蔵がありましたが、今は1棟を残し多くは失われ、主屋が造酒屋の風情を残しています。



基山商店主屋

(3) 基山商店

基山商店は、実松川沿いにあり、築50年以上の建物は、主屋のほか、精米所、酒造蔵等が残されています。間宿の面影を残す本町唯一の酒造場として営業を続けています。

(4) 中村家住宅

中村家住宅では、商家として大正前期に建てられた主屋が今も残されています。主屋は入母屋造りの建物ですが、松隈酒造場とは異なり、桁側が長崎街道に面し、長崎街道の町並み景観に変化を与えています。



中村家住宅

(5) 西海製薬社屋

西海製薬は、大正4年(1915)11月に天本龍之助ほか5名を发起人として西海製剤合資会社として設立されました。長崎街道沿いの木山口町の北の入り口にほど近い、若宮八幡神社南側に位置しています。

現社屋は、昭和29年(1954)に改築されたものであり、本町における近代洋風建築として貴重な歴史的建造物です。



西海製薬社屋

4. 木山口町で50年以上続く主な活動

木山口町で50年以上続く主な活動として、酒造、製薬・売薬、十日恵比須祭をご紹介します。

(1) 間宿の生業・造り酒屋と市

木山口町には、江戸時代の間宿であったことを物語るように、二つの造り酒屋がありました。現在操業を続けているのは、大正8年(1919)創業で小森家住宅を主家とする基山商店酒造場です。

かつて、新酒の仕込みの時期がきたことを人々に知らせていた大樽のおおたるの日干し風景はなくなりましたが、新酒が振舞われる蔵開きには多くの人々が訪れています。代表銘柄は「基峰鶴」です。現在も多くの人々に愛されるこの酒は、町内の神事の多くにお神酒として奉納されています。



住吉神社に奉納される基峰鶴

(2) 製薬・売薬

木山口町は、江戸時代から交通の利便性と対馬藩田代領という知名度を活かして、製薬と配置売薬業が発達しました。

配置売薬は、田代売薬の流れをくむものです。明治期の記録によると、薬売り人(以下、「売薬人」)が奈良田や長野、また基山の麓の丸林・城戸をはじめ町域全域にいたそうです。その数は限られてきていますが、現在も町域で配置売薬に携わる方がいます。



資料 売薬人の姿(大正期)

(3) 若宮八幡神社の十日恵比須祭

若宮八幡神社では、毎年12月初旬に氏子たちによってしめ縄の素であるさしわらづくりが進められます。その後、氏子たちによって打たれたしめ縄は、長崎街道沿いの明和4年(1767)寄進の鳥居、拝殿、そして十日恵比須の主役である恵比須神を祀る石製神殿の前に掛けられます。

十日恵比須祭は、昭和28年(1953)の基山町商工会資料に記載があることから、少なくともこれ以前より行われていたようです。神事は午前6時30分に執り行われ、参詣者の迎え入れが午前7時からはじまります。

恵比須祭の特徴として、由来は不明ながら、恵比須さんより小銭程度のお金を借用する行為が行われ、翌年の1月10日に倍返しを条件に、貸出帳簿に住所、氏名、電話番号、借り入れた金額を記入し借用します。このお金はすぐに使った方がご利益があると言いつたわれています。



十日恵比須祭時の神殿と大楠



十日恵比須祭の神事の様子

5. 木山口町における歴史まちづくり事業（計画）

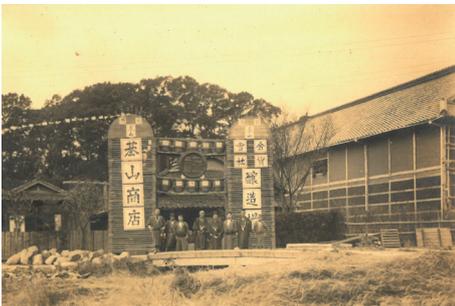
基山町では、歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史まちづくりに関する事業（計画期間：2019年度～2028年度の10年間）が進められています。以下、木山口町に関わる主な事業をご紹介します。

（1）歴史的な建造物の保存・活用に関する事業

1) 歴史的建造物調査事業

下記の歴史的風致形成建造物保存修理事業の実施に先立ち、歴史的風致形成建造物の候補となる建造物の調査を町が行う事業です。

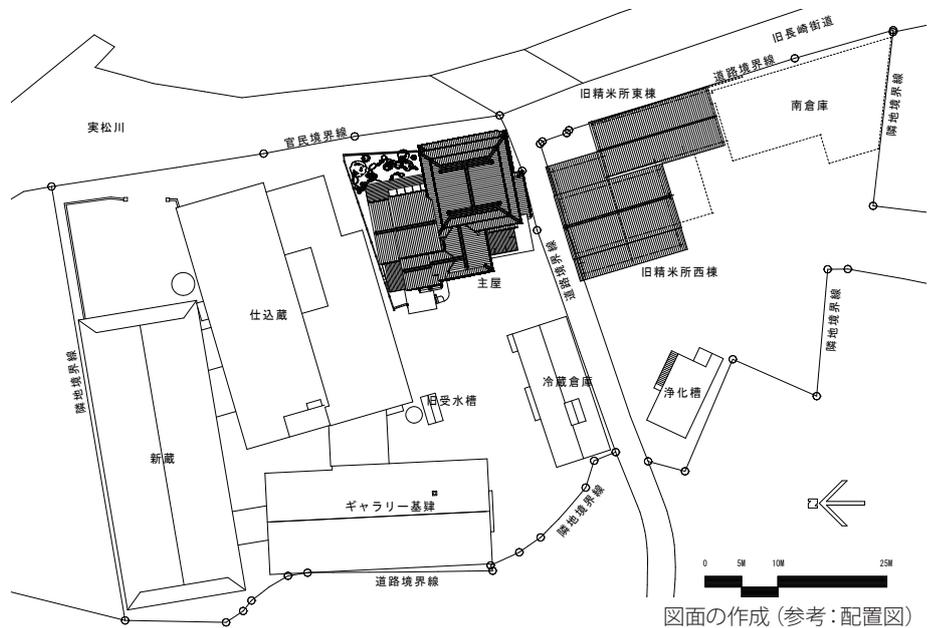
建造物に残された改修痕跡および関係資料の調査を行うことで、旧状に復する事業目的の質を高めることができます。また、調査の実施結果は、所有者等の歴史的建造物に対する継承意識の向上に役立てることも意図しています。



古写真の調査



建物の調査



2) 歴史的風致形成建造物保存修理事業

基山町の維持向上すべき歴史的風致を構成する歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理するための費用を町が所有者に補助する事業です。

後継者不足や修理費用の負担等による歴史的建造物の滅失、荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで重点区域内の歴史的風致の維持向上に寄与するものです。



歴史的風致形成建造物（基山商店の主屋）／令和2年10月5日に指定

(2) 歴史的な建造物を取り巻く環境の保全に関する事業

1) 長崎街道環境整備事業

長崎街道を顕在化するために景観に配慮した美装化舗装をはじめとした景観整備を町が行う事業です。現在の長崎街道は、近世の人と物の移動を知る上で重要な役割を担っていたにも関わらず、一般道と変わらぬ意匠であることから、基山への登山や原田宿と田代宿の間宿としての木山口町の歴史的風致を損なっています。美装化により顕在化することで、木山口町にみる歴史的風致の維持向上を図るものです。



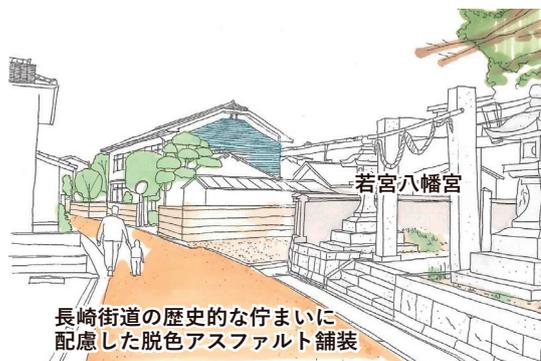
現状



長崎街道の美装化イメージ



現状

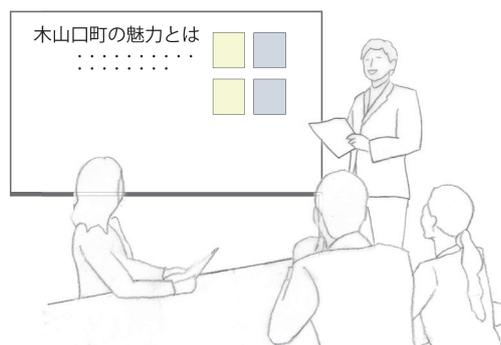


長崎街道の美装化イメージ

2) 木山口町の町並み保存活用支援事業

木山口町の歴史的環境整備を行う地元協議会への支援を町が行う事業です。

木山口町のまちづくりを進めるにあたり、関係する人々によるまちづくり協議会を立ち上げ、歴史的風致維持向上計画関係事業を展開するための官民協働の議論を行い、まちづくりへの参画意識を定着させるとともにまちづくりへの愛着を醸成することで、木山口町にみる歴史的風致の維持向上へ寄与するものです。



協議会活動のイメージ

3) 歴史的市街地の修景推進事業

長崎街道が通る歴史的市街地において、歴史的風致を阻害する建築物や工作物の修景を行うための補助を町が実施するものです。大型看板の設置、歴史的風致に合致しない洋風、現代意匠建造物について、景観修景を行うことで歴史的風致の周辺環境の改善を図ります。

6. 木山口町の歴史まちづくり

(1) 目指す方向

本協議会では、木山口町を通る長崎街道を地域の誇りと考えています。そして「基山町歴史的風致維持向上計画」に基づき町が歴まち事業を推進する今を、まちづくりの好機とし、これから以下の2つの方向で長崎街道をいかす木山口のまちづくりの推進に取り組みます。

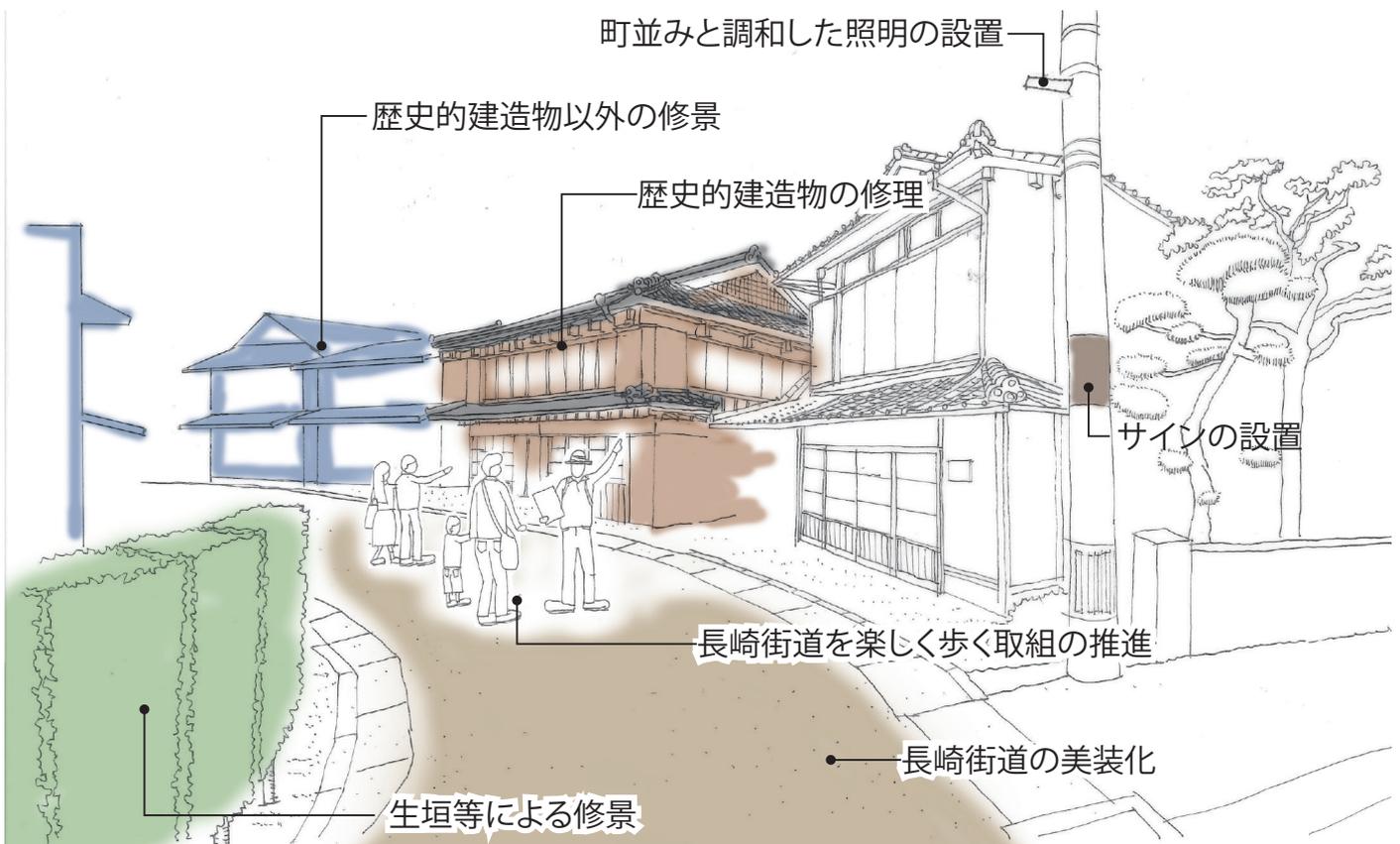
木山口町を通る長崎街道は地域の誇りです。

目指す方向1：木山口町の歴史的風致を活かした賑わいの創出を目指します

町や商店街・商工会・自治会・小学校・中学校等と協力し、基山商店、若宮八幡神社、その他の歴史的建造物等を活かし、多くの人々に長崎街道を楽しく歩いてもらえるような取組を考え、その推進に協力します。

目指す方向2：木山口町の歴史的風致の継承を目指します

長崎街道の歴史文化を伝える歴史的建造物の修理や、町並みの連続性を高め、回復させる既存建築物や新築の修景、生垣等による修景に協力します。また、長崎街道を分かりやすく伝える道路の美装化やサインの設置等に協力します。



目指す方向のイメージ

【問い合わせ先】

基山町教育委員会教育学習課内木山口町まちづくり協議会事務局 電話0942-92-2200